

## 2009年9月 ITU-R WP1B 会合報告書

- 【会合名称】 ITU-R WP1B 会合  
 (周波数管理手法に関する作業部会)
- 【会期】 2009年9月17日(木)～9月23日(水)
- 【開催場所】 スイス ジュネーブ ITU 本部
- 【概要】

本会合は、今研究期間における第3回会合である。44ヶ国の主管庁と9のROA (Recognized Operating Agencies)、3のSIO (Scientific or Industrial Organizations)、8の地域または国際機関事務局より計169名が参加した。日本からは、岩元、山田(総務省)、南、小坂、村上(NICT)、亀谷、立澤(国立天文台)、小川(ARIB)、鈴木(三菱総研)、嶋田(三菱電機)、牧(パナソニック)、森(ワシントンコアL.L.C)の12名が参加した。

各国からの寄与文書及び他グループからのリエゾン文書を含め計64件の文書が入力され、17件の文書が出力された。出力文書の内訳は、リエゾン文書案6件、作業文書(Working Document等)11件である。

会議では、3つのWorking Group (WG)が設置され、下記の担当事項の審議が行なわれた。会議の構成は表-1のとおりである。

表-1 会議の構成と各グループの担当事項

Working Party 1B 議長: Mr. S. Pastukh (露)
Working Group 1B-1 議長: Mr. F. Yurdal (ERO) 担当: ショートレンジデバイス
Working Group 1B-2 議長: Mr. J. Conner (米) 担当: WRC-12議題1.19関連 - ソフトウェア無線及びコグニティブ無線
Working Group 1B-3 議長: Mr. N. Alrashedi (UAE) 担当: WRC-12議題1.2, 決議951関連 (国際的な周波数管理枠組の見直し)

次回のWP1B会合は2010年2月1日(月)～10日(水)にスイス(ジュネーブ)において開催される予定である。次回会合においては引き続きショートレンジデバイス、コグニティブ無線及びソフトウェア無線(WRC-12議題1.19)、国際的な周波数管理枠組の見直し(WRC-12議題1.2)等が議論となるものと思われる。

## 各事項の審議結果

1.1	SWG1B-1-1(議長 小坂(日本)) : ショートレンジデバイス (SRD) .....	3
1.2	SWG1B-1-2(議長 D. SWARD(CAN)) : HARMONIZATION OF SHORT RANGE DEVICE (RES. ITU-R 54 (RA-07)) .....	3
1.3	SWG1B-1-3(議長 H. SHARIF(UAE)) : ECONOMIC ASPECTS OF SPECTRUM MANAGEMENT .....	4
1.4	センサーネットワークに関する WP5A への返書.....	5
2	WORKING GROUP 1B-2 (議長:MR. J. CONNER (米)) .....	6
2.1	ソフトウェア無線及びコグニティブ無線 .....	6
3	WORKING GROUP 1B-3 (議長: MR. N. AL RASHEDI (UAE)) .....	7
3.1	国際的な周波数管理枠組の見直し.....	7

# 1 Working Group 1B-1 (議長: Mr. F. Yurdal (ERO))

## 1.1 SWG1B-1-1(議長 小坂(日本)) : ショートレンジデバイス (SRD)

---

入力文書<sup>1</sup> 1B/88 Annex 1(前会合のWP1B議長報告), 102 (D), 112 (UAE), 130 (KOR), 139 (J),

出力文書 1B/TEMP/31 (DNRep)

### (1) 主要結果

Rec. ITU-R SM. 1538 は以下の新 Report に改定され、SG1 の承認を求めることとなった。その結果、Rec. 1538 の削除が必要と SG1 に報告された。

Doc. 1B/TEMP/31: Technical and operating parameters and spectrum use for short-range radiocommunication devices

### (2) 審議概要

Rec. ITU-R SM. 1538 は、これまで WP1B において改定作業が進められてきたが、シリアおよびアラブ諸国がこの勧告は議題 1. 22 に関係するとして承認に反対してきた。このままでは古い情報がいつまでも残ることになるため、第 1 回目の WP1B の Plenary で議長からこの勧告を Report にすることが提案され、反対なく承認された。

この結果を受け、Rec. 1538 の勧告部分はすべて削除され、これまでの WP1B での修正作業を含んだ Annex 1 を本体とし、Annex 2 および Attachment を新たな Annex とする構成とした。そのため、勧告の修正 (SRD から無線通信業務を保護するために主管庁が行う step を新たな Recommend として追加) を提案した Doc. 113 (NABA)、121 (CBS)、137 (EBU) は作業に使用されなかった。他の独 (CEPT を代表)、UAE、韓国、日本からの寄書は CEPT および各国の SRD に関する国内規則に関するものであり、Annex 2 の Attachment の修正あるいは新たな Attachment として加えられている。なお、イスラエルから 902-928MHz についても SRD の Commonly used frequency ranges として明記するべきだと提案があったが、多くの国が共通的には使用されていないとの反対があり採用されなかった。

この Report は、新 Report 案として SG1 に提出されることとなったが、その脚注に新 Report として承認された場合には、既存の Rec. 1538 を削除する必要がある旨の Note が付けられている。

## 1.2 SWG1B-1-2(議長 D. Sward (CAN)) : Harmonization of Short Range Device (Res. ITU-R 54 (RA-07))

---

入力文書 1B/103 (APT), 104 (D/HOL/BIH), 105 (ISO/IEC), 110 (ISO), 111 (UAE), 115 (ABU), 131 (SYR), 132 (CAN)

出力文書 1B/TEMP/35 (WD), TEMP/36 (WD)

### (1) 主要結果

SWG1B-1-2 は SRD の Harmonization に関する ITU-R 決議 54 を所掌している。以下の新勧告に向けての作業文書と新報告に向けての作業文書を出力した。

Doc. 1B/TEMP/36: Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R [HRM]: Frequency bands regionally or globally available for

---

<sup>1</sup> Doc.1B/95(4A), 107(CHN), 108(AsiaSat), 109(TELENOR), 155(4A)は WP1A で扱われるため Note された。

short-range devices (SRDs) (Document).

Doc. 1B/TEMP/35: Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM. [RFID]: Technical characteristics, standards, and frequency bands of operation for RFID and potential harmonization opportunities (Document).

## (2) 審議概要

### 勧告に向けての作業文書

文書の作成方向として、イタリアは、Recommendation にすべきと主張し、フランスが賛成した。それに対し、UAE が Report にすべきと主張した。WP1B 議長より、あまりに既存業務の保護に傾倒していると懸念を示し、共存に関して検討し、その結果を WP1A に示して合意が得られれば Rec. に、そうでなければ Rep. にすればよいのではないかと意見が表明された。SWG 議長より、はじめは Rec. とする前提で作業をして、帯域を明示しながら文章を構成していくことが望ましいのではと問い、UAE、米が賛意を表明しその方向で作業を進めることとなった。

UAE より、オランダと UAE の寄書が示している表の SRD の出力は重要な要素であるというコメントがあったが、フランス等から周波数が共用可能かの判断をするのが目的であり、各帯域で共用対象となるアプリケーションを明示することが大事ではないかと述べ、UAE も minimalist approach の観点から賛意を示した。

INTRODUCTION では、CRS 技術等が SRD のハーモナイズ化に有効であるとの表現に議論があり、当該記述が大幅に削除されたり、当初 2 つあった Annex も統合されるなどの修正が行われている。

Plenary において、本文書を Recommendation/ Resolution のいずれにするべきかなどで議論が紛糾した。WP1B でも Resolution for WRC-12 を作れるとする意見(主に ARB)と、WP1A が AI 1.22 に関する leading group であり 1B は Resolution 54 に関する作業のみするべきである(イタリア、オランダ、フランス)という意見に分かれ、収束しなかったため、文章のタイトルから相応の記述を削除して合意に至った。

### 報告に向けての作業文書

本文書はカナダからの寄与文書(1B/132)をもとに作成されたものである。RFID の利用について国際的にどのような違いがあるか等を解説した上で、RFID が各国にて経済的な観点からも特に重要視されていることを踏まえ、この問題に焦点をあてた報告書が作成されるべきであるという問題提起である。今後の意図は報告書作成を通じて RFID 用に国際的に周波数のハーモナイズーションをとることが可能であるのかを審議することである。

ハーモナイズできる可能性がある帯域候補として示されている 915-921 MHz についての記述は、UAE の意見により広義に 860-960 MHz 定義されるべきとの意見が出され合意された。

各国の RF-ID に関する技術基準については、韓国から今後、APT からの情報(AWF での審議内容を指している)を提供をしたいとの意見が出された。議長により本作業文書は引き続き各国からの意見を求めるものであることが再確認され、この表はまだ暫定的である点が編集者によるメモとして追記されることとなった。

イスラエルより、1B/TEMP/31 と相互参照するように提案があり、議長からも 1 つにまとめてよい文章ではないかという私見も出された。しかし、シリアから ITU-T でも RFID は議論されており、2 つにしておくべきであると意見が述べられた。結果、若干のコメントを付記したのち承認された。

## **1.3 SWG1B-1-3(議長 H. Sharif(UAE) : Economic aspects of Spectrum Management**

入力文書 100(BR), 118(SG 1 Chairman), 119(CG Chairman), 140(CHN)

出力文書 1B/TEMP/34(LS to ITU-D SG2), TEMP/ 37(WD)

## (1) 主要結果

Report ITU-R SM. 2012 の改定作業が進められ、作業文書が作成された。また、電波利用料に関する ITU-D SG2 へのリエゾン文書が作成された。出力文書は以下のとおりである。

- Doc. 1B/TEMP/34: REPLY LIAISON statement to ITU-D SG 2 – Resolution 9 (Rev. Doha, 2006), draft guidelines for the establishment of a system of fees
- Doc. 1B/TEMP/37: WD towards revision of Report ITU-R SM. 2012-2 – Economic aspects of Spectrum Management

## (2) 審議概要

前回のソウル会合で、“Economic aspects of Spectrum Management” に関する Report ITU-R SM. 2012 の改定作業のため Sharif 氏を議長とする Correspondence Group が設置されて以来、本 CG は SM. 2012-2 報告書（1997 年発行、2005 年第一改訂）の改訂に向けた作業を実施してきた。

SWG1B-1-3 は、この Report の改定作業をさらに行った。本作業のために、Correspondence Group の報告 (Doc. 119) をはじめとする各国の寄書を基に改定作業が行われた。まず、本報告書の改訂に際し、インプット文書として適切である文書が特定された。また、既存の SM. 2012 の目次項目の変更案が承認された。主な変更はできるだけ広義の目次として定義するために、例えば 2 章のタイトルにある用語を「経済的アプローチ」から「ファイナンス」へと変更するなど、微調整に留まったもののみであった。ANNEX に UAE とコートジボアールから寄せられた電波料金政策に関する文書が新たに添付された。ANNEX には今後も各国から寄与される文書があくまで事例として紹介されることになる予定である。今後も改訂作業を継続していくため、各国政府からのインプットが奨励され、日本も Sharif 氏から直接協力が求められている。出力文書である作業文書 (Doc. TEMP/37) は承認され、議長報告に添付される。また、Correspondence Group の継続が承認されている。なお、シリアから、以前に ITU-R では周波数オークション等について扱わないことが合意されており、それに反する Economic report について反対の意が示された。

Doc. 118 は ITU-D の SG2 で行っている WTDC-06 の決議 9 に関する検討状況を報告するものである。この文書を受け、電波利用料関係について WP1C と連名でリエゾン文書 (TEMP/34) を ITU-D SG2 に送付した。

## 1.4 センサーネットワークに関するWP5Aへの返書

入力文書 1B/99 (5A)

出力文書 1B/TEMP/32 (LS to WP5A)

### (1) 主要結果

議論はなく、以下の WP5A へのリエゾン返書が出力されている。

- Doc. 1B/TEMP/32: Reply to liaison statement from Working Party 5A - The study of mobile access systems providing radiocommunications to a large number of ubiquitous sensors and/or actuators scattered over wide areas

### (2) 審議概要

Doc. 1B/99 (WP5A) は、「広域に広がる多数のユビキタスセンサーおよびアクチュエータとの通信のための移動アクセスシステムに関する新 Question」に対する意見を求めるリエゾン文書である。議長により「特にコメントなし。今後とも引き続き進展があれば情報共有を求め」という内容の返答が草案され、さらにフランスが提案した SRD との関係性について質問

する文章を追記して送付することで承認された。

## 2 Working Group 1B-2 (議長:Mr. J. Conner (米))

### 2.1 ソフトウェア無線及びコグニティブ無線

---

入力文書 1B/88 Annex 4, 5, 6(前回会合のWP1B議長報告), 1B/91(WP7B), 1B/94(WP6A), 1B/96(WP5A), 1B/97(WP4A), 1B/101(WP5D), 1B/106(インド), 1B/114(NABA), 1B/115(アラブ), 1B/117(コレスポネンスグループ), 1B/120(WP4C), 1B/122(CBS), 1B/124(アメリカ), 1B/125(アメリカ), 1B/126(アメリカ), 1B/127(アメリカ), 1B/129(韓国), 1B/133(カナダ), 1B/134(カナダ), 1B/136(イタリア), 1B/137(EBU), 1B/144(ドイツ), 1B/145(ドイツ), 1B/147(ルクセンブルク), 1B/148(フィンランド/オランダ), 1B/149(フィンランド), 1B/150(フィンランド), 1B/151(AsiaSat), 1B/152(ノキアシーメンスネットワークス/ノキア)

出力文書 1B/TEMP/26(関連WPへのリエゾン), 1B/TEMP/28(WP5Aへのリエゾン), 1B/TEMP/29(WP7Dへのリエゾン), 1B/TEMP/30(SDR/CRSの定義に関するレポート), 1B/TEMP/41(GCVへのリエゾン)  
1B/158 Annex 5, 6(WP1B議長報告)  
(Source: 1B/TEMP/27(ワークプラン), 1B/TEMP/33(AI 1.19に関するCPM))

#### (3) 主要結果

WRC-11 議題 1.19 として掲げられているソフトウェア無線(Software-defined radio, SDR)及びコグニティブ無線(Cognitive radio systems, CRS)について、ドラフト CPM 文書の作成を行った。また、SDR と CRS の定義を確定してレポートとし、GCV(Coordination Committee for Vocabulary)にその定義を送付することとした。

#### (4) 審議概要

WG1B-2 は、CPM 文章について扱う SWG1B-2a と、その他(リエゾン、ワークプラン等)を扱う SWG1B-2b の 2 つのグループが形成され、議論が行われた。2a は Peter Anker 氏(オランダ)が、2b は Stephan Ward 氏(アメリカ)がそれぞれ議長を務めた。

SWG1B-2a では、前回に引き続き CPM 文章に関する議論が行われた。各 WP からのリエゾン文章については、原文を引用して羅列するのではなく、サマリの文章を作成することになった。各国からの寄書にて、“unlicenced” “licence-exempt” 等の記載が多々見られ、記述の適切性・妥当性について議論がなされたが、各国の立場の違いから合意に至らず各論併記し次回以降に持ち越しとなった。また、イランやシリアなどから、衛星の帯域の共用した CRS の運用に対する懸念が示され、CPM 文章にその旨残すことを強く主張され、今回は取り入れられた。現状の結論(Method)は、書きぶりから複数案併記となっているが実質は「SDR/CRS の導入に、regulatory な変更は不要」とするものとなっているが、これについて(衛星との共用の関連もあり)シリアより疑義が呈された。

SWG1B-2b では、前回会合以降も CG で議論を継続していた SDR と CRS の定義(1B/117)について確定した。この定義を Recommendation にするという意見が前回会合では多数であったが、

再度「定義を推奨する意義」について議論となり、結果(1)Report(1B/TEMP/30)としてまとめ、さらに(2)用語の定義を管理するCCVに報告(1B/TEMP/41)することで合意した。定義に関してはRecommendationを作成しないことになったが、次回会合でSDR/CRSに関してRecommendationとすべきことがあれば、広く提案を募集することとなった。

また、リエゾン文章を送付した全WPへ定義の完成を知らせる文章(1B/TEMP/26)、WP5Aへ他WPからの入力内容を伝える文章(1B/TEMP/28)、WP7Dへ電波天文で使用しているシステムに関する情報提供を求める文章(1B/TEMP/29)、CCVへ定義を知らせる文章(1B/TEMP/41)がそれぞれリエゾン文章として送付された。

今後のWorkplanについて、あと2回の会合(2010年2月、6月)を持つことで合意された。アラブ等より、あと2回の会合はCPM文章の作成に注力するべきであるとの意見が表された。

### 3 Working Group 1B-3 (議長: Mr. N. Al Rashedi (UAE))

#### 3.1 国際的な周波数管理枠組の見直し

入力文書 1B/98 (WP4A), 123 (米), 128 (韓), 135, 138 (加), 141 (加, 仏, 独, ニュージーランド, スウェーデン, 蘭, 英), 142, 143 (仏), 146 (スウェーデン), 153 (エジプト, イラン, シリア, UAE)

出力文書 1B/158 Annex 8, 9 (WP1B議長報告)

##### (1) 主要結果

周波数管理枠組の見直しについて各国からの寄与文書を元に議論が行ったが、意見の一致をみることはなく、CPMテキストに各メソッドのアドバンテージ・ディスアドバンテージを列挙した形で「CPMテキスト案に向けた作業文書(Working document towards draft CPM text on WRC-12 agenda item 1.2)」及び、各国の提案を列挙した「WRC-12 議題 1.2 国際周波数管理枠組の向上についての新研究レポート草案 作業文書(Working document towards a preliminary draft new Report on enhancing the International Regulatory Framework - In relation to WRC-12 Agenda item 1.2)」を作成した。なお、リエゾン文書は作成されなかった。

##### (2) 審議概要

WRC-12 議題 1.2 は、従来の枠を跨ぐ新たな技術への対応のため、WRC-03 決議 951 (Rev. WRC-07) に基づき、無線通信業務(固定業務、移動業務、放送業務等)の現在の無線通信規則(RR)の見直しについて、その必要性も含めて検討を行うものである。

今回会合では、前回会合からの議論に引き続いて検討が実施され、無線通信規則(RR)の見直し案(メソッド)について新たに追加・削除等がなされた。しかし、各メソッド(※)のアドバンテージ・ディスアドバンテージについて意見の一致をみるものはほとんどなく、検討は次回以降に持ち越されることとなった。

(※) 今回会合でとりまとめられた各メソッド及びアドバンテージ・ディスアドバンテージ

メソッド A...現行維持(地上波割当の通告・登録手順を修正するという内容が盛り込まれたアラブ提案も含む)

【アドバンテージ】

現行定義のままで現在及び将来の割当計画にも対応できる。

【ディスアドバンテージ】

合意されたものは無し。

(固定及び移動業務の融合の問題に対応することができない。)

メソッドB…複合業務の導入

【アドバンテージ】

無線通信業務の現行定義を変更する必要がない。

【ディスアドバンテージ】

合意されたものは無し。

(複合業務は、各周波数ごとに新規に割り当てられる必要がある。)

メソッドC…固定業務、固定局、移動局及び地上局の既存定義の修正

【アドバンテージ】

合意されたものは無し。

(現在の状況を反映できるとともに将来の需要に柔軟に対応できる。)

【ディスアドバンテージ】

既存業務への影響や協調などについて研究する必要がある。

メソッドD…固定業務、さらに場合によって固定局の定義変更とともに、Appendix4 及び通告様式を改定 (Article5, 9, 11 の変更は必要ない) [フランス提案]

【アドバンテージ】

固定または移動に関わらない通告様式を提供できる。

【ディスアドバンテージ】

合意されたものは無し。

メソッドE…勧告 34 (WRC-95) (周波数分配の根本原則) を WRC 決議としてアップグレード [スウェーデン提案]

【アドバンテージ】

合意されたものは無し。

【ディスアドバンテージ】

合意されたものは無し。

会合期間中、本 WG の作業 (GPM テキストの作成) の遅れが目立っていることが 1B-3 チェアマン、1B チェアマンより指摘があったため、来年 2 月の第 4 回会合に加えて、第 5 回会合の開催の是非について議論がなされた。開催の是非について、当初、イソ・シリアが強硬に反対していたが、①他会合との日程が重ならないこと、②第 4 回会合の進捗状況を見て第 5 回会合の開催の是非を判断すること、の 2 点について合意がとられることとなった。現時点では、第 5 回会合が平成 22 年 6 月 21 日～28 日に計画されているところである。



入力文書

文書 番号 (1B/##)	提出元	表題	
89	ITU-R SG1 議長	RESPONSE TO QUESTIONNAIRE FROM ITU-T FOCUS GROUP ON ICT AND CLIMATE CHANGE	国際電気通信連合電気通信標 準化部門(ITU-T)「ICTと気候 変動に関するフォーカスグル ープ」からの質問票への回答
90	CCV 議長	LIAISON STATEMENT TO RADIOCOMMUNICATION STUDY GROUPS AND WORKING PARTIES For action	無線通信部門の SG および WP への連絡文書実施のお願い
91	WP7B	Liaison statement on the study of Software-Defined Radio (SDR) and Cognitive Radio Systems (CRS) and their potential impact on the space science services	ソフトウェア無線 (SDR) とコ グニティブ無線 (CRS)、及び それらが宇宙科学業務に対 して及ぼす可能性のある影 響に関する研究のリエゾン 文書
92	ITU-T 「ICT と 気候変動 に関する フォーカ スグルー プ」議長	INFORMATION ON ACTIVITIES AND OUTPUT DOCUMENTS OF ITU-T FOCUS GROUP ICT&CC	国際電気通信連合電気通信標 準化部門(ITU-T)「ICTと気候 変動に関するフォーカスグル ープ」の活動および成果文書 に関する情報
93	ITU-T SG2	LIAISON STATEMENT ON LEADING ROLE OF STUDY GROUP 2 ON SERVICE DEFINITION	LIAISON STATEMENT ON LEADING ROLE OF STUDY GROUP 2 ON SERVICE DEFINITION
94	WP6A	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 1B ON THE STUDY OF SOFTWARE-DEFINED RADIO AND COGNITIVE RADIO SYSTEMS FOR WRC-11 AGENDA ITEM 1.19	WP1B へのリエゾン文書 WRC-11 議題 1.19 のための SDR 及び CRS に関する研究
95	WP4A	Liaison statement to Working Party 1A (for action) and working party 1B (for action and/or information) on WRC-11 Agenda Item 1.22	WRC-11 議題1.22WP1A(作業) 及びWP1B(作業及び/もしくは は情報)に対するリエゾン文 書
96	WP5A	On the Study of Software-Defined Radio and Cognitive Radio Systems	ソフトウェア無線とコグニテ ィブ無線の検討について
97	WP4A	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 1B for action (and to Working Party 5A for information) ON WRC-11 AGENDA ITEM 1.19	WP1B に向けたリエゾン文書 (作業依頼) (WP5A へは情報) 議題 1.19 関連
98	WP4A	Liaison Statement to Working Party 1B on WRC-11 Agenda Item 1.2	WRC-11議題1.2に関するWP1B へのリエゾン文書

文書 番号 (1B/##)	提出元	表題	
99	WP5A	The Study of Mobile Access Systems Providing Communications to a Large Number of Ubiquitous sensors and/or Actuators Scattered over Wide Areas	広域に広がる多数のユビキタスセンサーおよびアクチュエータとの通信のための移動アクセスシステムの研究
100	BR 局長	SUMMARY NOTES ON THE BR WORKSHOP ON THE EFFICIENT USE OF THE SPECTRUM/ORBIT RESOURCE (Geneva, Switzerland, 6 May 2009)	BR 主催『スペクトラム／軌道資源の効率的利用に関するワークショップ』に関する要約メモ（スイス・ジュネーブ、2009年5月6日）
101	WP5D	LIAISON STATEMENT TO ITU-R WORKING PARTIES 1B AND 5A (COPY TO WORKING PARTIES 5B AND 5C FOR INFORMATION) ON THE STUDY OF SOFTWARE-DEFINED RADIO (SDR) AND COGNITIVE RADIO SYSTEMS (CRS)	WP5DからWP1B, WP5Aへ送付したSDR, CRS関係のリエゾン
102	ドイツ	Proposal regarding the update of Recommendation ITU-R SM. 1538-2 Technical and operating parameters and spectrum requirements for short-range radiocommunication devices	ITU-R勧告 SM. 1538の改定提案
103	APT	LIAISON STATEMENT TO ITU-R WORKING PARTY 1B the APT activities for harmonization of SHORT RANGE DEVICES (SRDs) characteristics	WP1Bに対するリエゾン文書 SRD 特性の調和に関する APT の活動
104	オランダ、ボスニア・ヘルツェゴビナ	Preliminary draft New Recommendation itu-r [SRD M-HAR] Short Range Device (SRD) frequency bands to be used worldwide	ITU-R 新勧告草案[SRD M-HAR]
105	ISO/IEC JTC 1/SC 31	SHORT-RANGE RADIOCOMMUNICATION DIVICES (SRDS)	SRDについて
106	インド	Considerations for Software Defined radio (SDR) and Cognitive radio Systems (CRS) for WRC-12 agenda item 1.19	WRC-12議題1.19 (SDR, CRS)
107	中国	WRC-12 Agenda item 1.22 FIELD TESTS ON THE INTERFERENCE FROM SHORT RANGE DEVICES ON GSO FSS NETWORKS	WRC-12 議題 1.22 ショートレンジデバイスから静止軌道 FSS ネットワークに対して及ぼす干渉に関する実地試験

文書 番号 (1B/##)	提出元	表題	
108	Asia Satellite Telecommu nications Co. Ltd.	Field tests on the studies of the impact of short-range radio device on GSO FSS and BSS networks (WRC-12 Agenda item 1.22)	WRC-12 議題 1.22 GSO FSS 及び BSS ネットワークへの短距離無線機器からの影響に関する実証実験の検討
109	Telenor ASA	Short range devices operating in bands used by satellite services regulated by the Radio Regulations (WRC-12 Agenda item 1.22)	WRC-12 議題 1.22 RR により規定される衛星業務の利用帯域における短距離無線機器の運用
110	ISO	SHIP AND PORT SECURITY REQUIREMENTS FOR THE ITU WORLD RADIOCOMMUNICATION CONFERENCE 2012	ITU WRC12に向けた船舶・港湾の安全要求
111	UAE	Preliminary draft New Recommendation itu-r [SRD M-HAR] Short Range Device (SRD) frequency bands to be used worldwide	暫定新勧告案[SRD-HAR]世界的に使用される SRD の周波数帯について
112	UAE	Proposal regarding the update of Recommendation ITU-R SM.1538-2 Technical and operating parameters and spectrum requirements for short-range radiocommunication devices	ITU-R 勧告 SM.1538-2 に関する改定提案 SRD の技術的・運用的特性パラメータや要求条件
113	NABA	Preliminary Draft Revision of RECOMMENDATION ITU-R SM.1538-2 Technical and operating parameters and spectrum requirements for short-range radiocommunication devices	ITU-R 勧告 SM.1538-2 の修正案 SRD の技術的・運用的特性パラメータや要求条件
114	NABA	WORKING DOCUMENT TOWARDS DRAFT CPM TEXT ON WRC-12 AGENDA ITEM 1.19	WRC-12 議題 1.19 に関する CPM テキスト作成に向けた作業文書
115	ABU	ABU VIEWS ON WRC-12 AGENDA ITEMS 1.4, 1.13, 1.19, 1.22, 1.25	WRC-12 議題 1.4, 1.13, 1.19, 1.22, 1.25 に関する ABU の見解
116	英国	Preliminary draft revision of recommendation ITU-R SM.1413-2 Radiocommunication Data Dictionary (RDD)	ITU-R 勧告 SM.1413-2 (無線通信データ辞書) の改訂文書

文書 番号 (1B/##)	提出元	表題	
117	WRC-12 議題 1.19 SDR 及 び CRS に関するコ レスポン デンス グルー プ議長	Report on the activities within the Correspondence group	コレスポネンスグループに おける活動レポート
118	ITU-R SG1 議長	Status of the third stage of the report on WTDC-06 resolution 9 (REV. DOHA, 2006)	WTDC-06 決議 9 (Rev. Doha, 2006) における報告書の第 3 ステージの状況
119	Chairman of the CG on revision of Report ITU-R SM. 2012-2 'Economi c aspects of Spectrum Managemen t'	Report on the activities within the Correspondence Group	コレスポネンスグループの 活動報告
120	WP4C	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 1B Reply on the study of software-defined radio and cognitive radio systems	WP 4 CからのWP 1 Bへ のリエゾン文書 SDR 及び CRS の研究に関する回答
121	CBS. Inc.	Preliminary Draft Revision of RECOMMENDATION ITU-R SM. 1538-2 Technical and operating parameters and spectrum requirements for short-range radiocommunication devices	ITU-R 勧告 SM. 1538-2 の修正 案 SRD の技術的・運用的特性 パラメータや要求条件
122	CBS. Inc.	Working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題1.19のCPM 文書 に対する作業文書
123	USA	Modifications to Draft CPM Text for WRC-12 Agenda Item 1.2, Enhancing the international regulatory spectrum framework	WRC-12 Agenda Item 1.2草案 の修正

文書 番号 (1B/##)	提出元	表題	
124	USA	Modifications to draft CPM text for WRC-12 Agenda item 1.19, regulatory implications of software-defined radio and cognitive radio systems	WRC-12 議題 1.19 (SDR, CRS の規制事項の検討) に関する CPM テキスト案への修正
125	USA	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R [SDR] - Definition of software-defined radio technology for use in radiocommunication services	ITU-R 暫定新勧告案 [SDR] (無線通信業務における SDR 技術の定義) への作業文書
126	USA	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R [CRS] - Definition of the cognitive radio system technology for use in radiocommunication services	ITU-R 暫定新勧告案 [CRS] (無線通信業務における CRS 技術の定義) への作業文書
127	USA	Working document toward a preliminary draft new Report on equipment approval process for SDR/CRS	SDR / CRSの機器認証に関する暫定新レポートへの作業文書
128	韓国	working document towards Preliminary Draft New Report on Enhancing the international spectrum regulatory framework In Relation to WRC-12 agenda item 1.2	WRC-11 議題 1.2 国際周波数管理枠組の向上についての新研究レポート草案作業文書について
129	韓国	Development of CPM text for WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12議題1.19に関するCPM テキスト案の修正
130	韓国	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1538-2 - Technical and operating parameters and spectrum requirements for short-range radiocommunication devices	ITU-R 勧告 SM.1538-2 の修正案 (SRD の技術的・運用的特性パラメータや要求条件)
131	シリア	WRC-12 Agenda item 1.22	WRC-12議題1.22について
132	カナダ	Working document toward a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM. [RFID HARMONIZATION]	ITU-R暫定新勧告案 SM. [RFID HARMONIZATION]に向けた作業文書
133	カナダ	Proposed modifications to the working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題1.19に関するCPM 文書に向けた作業文書の修正提案

文書 番号 (1B/##)	提出元	表題	
134	カナダ	Definitions for the terms "Software-defined radio" and "Cognitive radio system"	" SDR及びCRS" の定義について
135	カナダ	revisions to the working document towards a preliminary draft new report on WRC-12 agenda item 1.2	WRC-11議題1.2に係る新研究レポートの修正案について
136	イタリア	Considerations on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題1.19に関する見解
137	EBU	SUPPORT TO CONTRIBUTIONS FROM BROADCASTING ORGANISATION	放送機関から入力された寄書への支持
138	カナダ	Proposed revisions to the DRAFT CPM TEXT ON WRC-12 agenda item 1.2	「CPMテキスト案に向けた作業文書」の修正案
139	日本	PROPOSED MODIFICATIONS TO THE Working Document Towards A Preliminary Draft Revision of RECOMMENDATION ITU-R SM.1538-2	ITU-R勧告 SM.1538-2 の改定案への修正提案
140	中国	PRELIMINARY DRAFT REVISIONS TO REPORT ITU-R SM.2012-2 (2005) 'ECONOMIC ASPECTS OF SPECTRUM MANAGEMENT'	報告書ITU-R SM.2012-2 "周波数管理の経済的側面" の見直し第1稿
141	カナダ、フランス、ドイツ、ニュージーランド、スウェーデン、オランダ、イギリス	Enhancement of the international spectrum regulatory framework	国際的周波数規制フレームワークの拡張
142	フランス	modification to the working document towards Preliminary Draft New Report on Enhancing the international spectrum regulatory framework	国際的周波数規制フレームワークの拡張に関する新報告書の作業文書の改訂
143	フランス	proposed modification to the working document towards DRAFT CPM TEXT ON WRC-12 agenda item 1.2	WRC12議題1.2に関するCPMの作業文書の改訂提案
144	ドイツ	Consideration for possible studies and development of CPM text of WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題1.19のCPM文書の可能な研究と開発に対する見解
145	ドイツ	Development of a preliminary draft new Recommendation on the definition of software defined radio (SDR) and cognitive radio systems (CRS)	SDR及びCRSの定義に関するPDNRの策定
146	スウェーデン	development of CPM text for WRC-12 agenda item 1.2	WRC12議題1.2に関するCPMの作業文書の作成

文書 番号 (1B/##)	提出元	表題	
147	ルクセンブルク	Considerations for software defined radio (SDR) and cognitive radio systems (CRS) for WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題1.19のSDR及びCRSに関する意見
148	フィンランド、オランダ	Development of CPM text for WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題1.19のCPM文書の作成
149	フィンランド	Proposed Liaison statement to Working Party 7D (copy to Working Party 5A for information)	WP7Dへのリエゾン文書提案
150	フィンランド	Proposed Liaison statement to Working Party 5C (copy to Working Party 5A for information)	WP5Aへのリエゾン文書提案
151	Asia Satellite Telecommunications Co. Ltd.	WRC-12 Agenda item 1.19 - Cognitive radio systems operating in the FSS/BSS bands	WRC-12 議題1.19 FSS/BSSバンドにおけるコグニティブ無線システム
152	ノキア	Proposed liaison statement to Working Party 5A	WP5Aへのリエゾン文書提案
153	レバノン、シリア、UAE	To the working document towards preliminary draft new Report on enhancing the international spectrum regulatory framework - In relation to WRC-12 Agenda item 1.2	国際周波数管理枠組みの見直しに関する暫定新報告書案に向けたワーキングドキュメント (WRC議題1.2関係)

## 出力文書

文書番号 (1B/TEMP/##)	表題		備考 (提出元)
26	LIAISON statement to ITU-R STUDY GROUP 3 and Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5c, 5D, 6a, 7B, 7c, 7D On the Progress of WRC-12 agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 に関する関連 SG 及び WP へのリエゾン文書	
27	Revised Work plan for WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 に関する改訂作業計画	
28	LIAISON statement to Working Party 5A information received From concerned working parties on WRC-12 Agenda Item 1.19	WRC-12 議題 1.19 に関する WP5A へのリエゾン文書	
29	LIAISON statement to Working Party 7D On the study of Software-defined radio and cognitive radio systems	ソフトウェア無線・コグニティブ無線システムに関する WP7D へのリエゾン文書	
30	DRAFT NEW REPORT ITU-R SM. [SDR-CRS]	新報告書案 ITU-R SM. [SDR-CRS]	
31	DRAFT NEW REPORT ITU-R SM. [SRD]	新報告書案 ITU-R SM. [SRD]	
32	REPLY TO LIAISON STATEMENT FROM WORKING PARTY 5A	WP5A からのリエゾン文書への回答	
33	Working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 に関する CPM テキスト案に向けたワーキングドキュメント	
34	DRAFT REPLY LIAISON statement to ITU-D SG 2	ITU-D SG2 に向けたリエゾン回答文書案	
35	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM. [RFID]	暫定新報告書案 ITU-R SM. [RFID] に向けたワーキングドキュメント	
36	Working document towards the harmonisation of frequency bands for SRD	SRD のための周波数協調に向けたワーキングドキュメント	
37	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM. 2012-2	報告書 ITU-R SM. 2012-2 の暫定改訂案に向けたワーキングドキュメント	
38	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM. 1413-2	勧告 ITU-R SM. 1413-2 の暫定改訂案に向けたワーキングドキュメント	



文書番号 (1B/TEMP/##)	表題		備考 (提出元)
39	Working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 に関する CPM テキスト案に向けたワーキングドキュメント	
40	Working document towards preliminary draft new Report on enhancing the international spectrum regulatory framework in relation to WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 に関する国際周波数管理枠組みの見直しの暫定新報告書案に向けたワーキングドキュメント	
41	Draft Liaison statement to Coordination Committee for Vocabulary (CCV) PROPOSED definitions for “Software Defined Radio (SDR)” and “Cognitive Radio System (CRS)”	ソフトウェア無線・コグニティブ無線システムの定義に関する CCV へのリエゾン文書案	
43	Method of work and organization of studies for WRC-12 agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 に関するメソッドと研究について	